

## シラバス

指定番号

商号又は名称：社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護に於いて認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解することができるように指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<講義内容> ・認知症ケアの理念 「認知症を中心としたケア」から「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。 ・認知症ケアの視点（できることに着目する）を理解する。 <通信学習課題> ・認知症ケアの理念と視点。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<講義内容> ・認知症の概念 老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する。 認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。 ・認知症の原因疾患とその病態 ・原因疾患別ケアのポイント アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ。 <通信学習課題> ・認知症の原因。認知症の原因疾患とその病理及びケアのポイント。
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<講義内容> ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 認知症の症状を学び、どのようなケアが必要かを理解する。 認知症の人の行動と環境との関係について学ぶ。 ・認知症の人への対応 その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。 <通信学習課題> ・認知症の症状。認知症の人への対応。
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<講義内容> ・家族へのレスパイトケア 家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ。 ・家族へのエンパワメント 家族とは助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。 <通信学習課題> ・家族介護者への支援。レスパイトケア。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。